

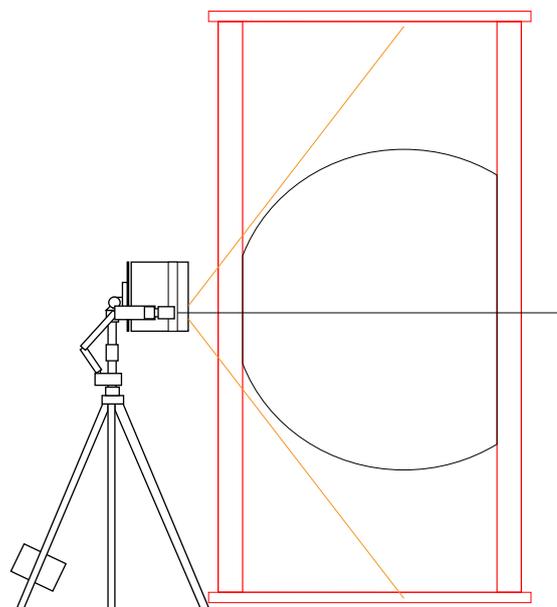
天野 敏之 (和歌山大学), 佐藤 いまり (国立情報学研究所)

「木火土金水」をモチーフとした見かけの質感操作

2015 年

従来のプロジェクションマッピングでは、建築物や工業製品などの形状に合わせて映像を重畳投影することで映像作品のシームレスな上映を行っています。それに対し、本技術は見かけの操作を用いることで、工芸作品の見た目を隠蔽することなく、工芸品が持つ美しさをそのままに、通常の展示方法では表現できなかった質感表現を実現しました。また、投影には超単焦点プロジェクタカメラシステムを用いることで鑑賞を妨げない投影を行っています。

本プロジェクションマッピングは、箔工芸作家 裕人 礪翔 (GOLD LEAF KYOTO 代表) と和歌山大学 天野敏之 (国立大学法人 和歌山大学 システム工学部 准教授), 国立情報学研究所 佐藤いまり (大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 教授) の産学協同プロジェクトとして行っています。



超単焦点プロジェクタカメラシステム

お問い合わせ先

天野 敏之

和歌山大学 システム工学部 天野研究室 (空間拡張現実感研究室)

E-mail: amano@sys.wakayama-u.ac.jp

URL: <http://www.wakayama-u.ac.jp/~amano/>

Spatial Augmented Reality Lab.
Toshiyuki Amano Lab., Faculty of Systems Engineering

